

野生動物対策について

国立妙高青少年自然の家は、妙高戸隠連山国立公園内に位置し、豊かな自然の中にある施設です。施設周辺には多様な動物が生息しており、妙高の山はツキノワグマの生息域になっております。

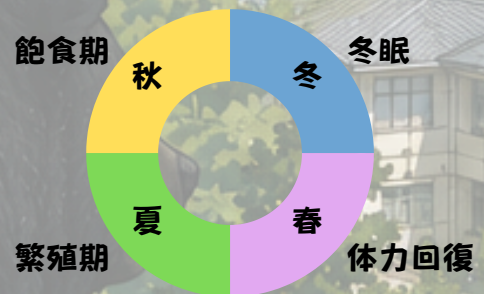
当施設は野生動物対策を徹底しておりますので、活動を行う際はツキノワグマのことを学習し、注意しながら自然体験活動を満喫してください。

【ツキノワグマについて】



- 体長: オス平均140cm
メス平均120cm
- 体高: 50~60cm
- 体重: オス平均約60kg
メス平均約45kg
- 食事: ドングリ・草木や葉
アリやハチ等(雑食)

ツキノワグマの一年

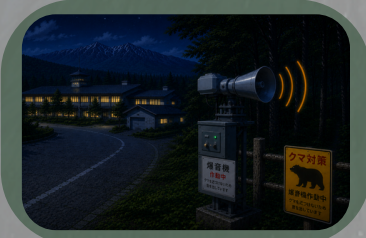


【施設内での対策】



○クマ点検・巡回の実施

○クマが嫌う臭いの設置
(オリエンテーリングコース)



○爆音機の設置・運用

○クマよけ缶の設置
(オリエンテーリングコース)



○その他(草刈り・ゴミ拾い・情報収集等)

【みなさんへのお願い】



単独行動は避ける
※特に朝・晩にかけて

1人での行動は控え、外で活動する際は2人以上で行動しましょう。特に朝方や夕方はクマが活発に活動する時間帯です。



人間の存在を知らせる

人間の存在に気づいた場合、大体はクマの方が避けてくれます。鈴や物音を立てながら人間の存在を知らせましょう。施設では鈴の貸し出しや、活動場所に熊よけ用の缶を設置しています。



ゴミのポイ捨てはしない

人間の食べ物の味を知った熊は人里に近づいてくる可能性があります。餌を与えるのはもってのほかです。次にその場で活動する人も危険な状況になり得ます。ゴミのポイ捨てはやめましょう。



現地の情報に注意する

活動場所の熊の出没状況や、施設のルール等を確認し、不安な場合は施設へ問い合わせをして、情報の収集や状況の把握をしておきましょう。

【万が一目撃・出会ってしまったら、攻撃してきたら】



まずは冷静に。
 近づかない、走らない、騒がない。背中を見せずに少しずつ離れる。



攻撃されたら…
 地面にうつ伏せになり、頭・首・腹部を守る。



安全な場所まで移動したら…職員に連絡を。
 「いつ」「どこで」目撃・遭遇したかを伝える。

目撃・遭遇・ふんの発見



事務室に連絡

TEL:0255-82-4321



{利用者}

近づかない

静かに

その場を離れる



{職員}

猟友会・警察に連絡



現場確認

利用者の安全確保



屋外活動実施の判断
 各利用団体への連絡

ご不明な点やお問い合わせは下記にご連絡ください

【国立妙高青少年自然の家】

TEL:0255-82-4321

HP:<https://myoko.niye.go.jp>

